

目標達成計画

作成日: 平成 24年 4月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	67	高齢化・重度化していく中でややもすれば、医療面・安全面・健康面にのみ、目がいきやすい状況になっており、一人ひとりに寄り添い、ゆったりとした時間の流れ・個々に合った満足のいくサービスが提供できていないのではないか	職員一人一人が、知識・技術のさらなる向上を目指し、「介護は気づきである」をモットーにサービスの質の向上に取り組む	研修委員を中心に質の向上につながるような研修を企画・参加する。仕事の流れを再検討し無駄を省き、ゆったりとした時間の流れができるようなシステムを検討する	12ヶ月
2	35	災害マニュアルを作成す、シュミレーションを行っているが、災害の少ない県と言う事もあり、現実的・具体性に欠けている	より現実の問題として、職員の意識付けや具体性を明確化する	研修を繰り返し、より具体的なシュミレーションを行う。備蓄品の検討等を行う	12ヶ月
3	14	前年度の目標に掲げていた他のグループホームとの交流が少しずつではあるが、実現できつつあるが、同業者としての情報の共有や、職員の意欲の向上・サービスの質の向上にまでは進展していない	管理者のみでなく、職員同士の相互訪問や交流等を取り入れ、意欲の向上・サービスの質の向上につなげる	他のグループホームとの連携をとり、相互訪問や情報の共有・それぞれの行事への参加等を行う	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。